

## 科学の祭典 2025 出展報告

### ①エピソード

- 午前、午後とも、お手伝いに来てくれた高校生の、来場者（特に小・中学生）に対する応対がとてもうまいことに感心しました。
- 具体的には、小澤先生に用意していただいた私の説明文を的確に読み込み、またコイルの作り方や作る上での注意点も理解し、丁寧に指導していました。
- 困ったことがあれば内藤がサポートしましたが、殆どそのようなことはありませんでした。
- 作ったコイルがうまく回り、子供が満面の笑みを浮かべていて、親も喜んで帰っていくところを見て、お手伝いの高校生の力は偉大だと思いました。

### ②学んだこと

- 内藤の担当した内容が、中学生の時に学んだ内容とはいえ、高校生の呑み込みの良さに驚きました。やはり、理屈がわかり、手を動かして実験（や観察）を行い、上手くいったときの達成感や成就感を体験させることは大切だと思いました。

### ③分かち合いたいこと

- 特に小さい子は、上手くいったときに褒められると喜ぶので、良いタイミングで褒め、「来年もまた来たいな」と思ってもらえるような働きかけをするといいのかなと思いました。

### ④おまけ

- 昨年の「夕焼けはなぜ赤いか」の実験やクリップモーターの実験は中学2年生にも好評だったようです。今の職場の教員に引き継ぐことができました。